

令和元年 8 月 7 日
姫路海上保安部

海の安全推進アドバイザーによる機関整備講習会の実施

姫路海上保安部では、令和元年 7 月 25 日（木）、姫路市の木場ヨットハーバーにおいて、エンジントラブル防止のスペシャリスト一般社団法人日本船用機関整備協会業務部長の正一喜男氏をお招きし、プレジャーボート運航者 13 名に対する機関整備講習会を主催しました。

「船用機関のトラブル防止のための点検整備」と題する講義では、「水（冷却水）と油（潤滑油）の管理を徹底すれば、機関故障は大方回避できる」と強調されました。シリンダ内のピストンが往復するアニメ動画を再生させ、潤滑油の量が多すぎても燃焼してしまい、少なくともシャフトカムが油を跳ね上げず、潤滑油量は適正でないピストンリングとの隙間へ滑らかに進入していかないと理解できました。また、冷却水は井戸水やミネラルウォーターでは鉄分が多く含まれているので、パイプが腐食してよくないこと、水道水でよいとの説明がありました。海上では、いくら予備品を装備してもオーバーホールは不可能であるので、常日頃から定期的な手入れが重要と貴重なお話しで終わり、大きな拍手が起こりました。早速、自分のボートを確認に行く受講者も居り、この講習によって機関整備不良による海難が減少することに少しでも繋がれば幸いです。

<正一喜男氏による講義>

